

～東九州の国内物流拠点を目指して～

宮崎県北地域の産業を支え活力ある地域として継続していくためには、今ある地域ストックを最大限に活用しながら物流の効率化を図ることが重要です。

そのためには、地域の産業や物流に携わる官民が連携し、同じ目標に向かって、実現を目指していく必要があります。

■固定概念を変え、機会を生み出す

これまでは、物流コストを抑えることは物流業者が自助努力で行ってきました。しかし、一企業による経営努力だけでは限界があり、他企業と連携したスケールの大きい取組みが今後は重要になってきます。

行政などが仲介に立ち、マッチングセミナー等を介して貨物のマッチングや情報交換の場を設け、Win-Win の関係が築ける機会を創出することや、行政が民間をサポートする体制を整えることが課題解決の第一歩になります。

■チャンスを活かす

マッチング等で機会を創出したら、その機会を活かして一歩踏み出すことが、課題解決の一歩となります。その結果、効率的かつ安定的な物流環境構築され、県北地域の競争力が高まり、産業の発展につながります。

早速、平成 29 年度からは日向市と横須賀市が連携・協力し、久里浜港とのトライアル寄港を実施します。新たなチャンスを活かすことが、新たな定期航路を生み出すチャンスになります。

■むすびに

本ビジョンは、国内長距離輸送に関する課題にどのように向き合っていくかを短期・中期・長期の視点でとりまとめたものになります。

このビジョンを県北地域の国内物流の理想像とし、それぞれの行政や民間がそれぞれの立場で実行し、連携していくことが重要になります。

また、経済情勢や社会情勢の変化は、年々激しくなっていることから、ビジョンは適宜見直しを行うとともに、短期計画である 5 年をめぐりに全体的なアクションプランに対する評価や中・長期計画の見直しを行っていきます。

○ 物流関係用語集

1. 【RORO船】 P1-1

Roll-on Roll-off ship の略であり、本船荷役の際に、本船に備え付けられたクレーンや陸上の輸送機器を使用せず、貨物を積んだトラックやシャーシ(荷台)ごと輸送する船舶のこと。発地では、トレーラーが乗船し、貨物を積んだシャーシを切り離して船側に載せ、トレーラーヘッド(トラクタ)のみが下船する。着地では、トレーラーヘッドのみ乗船し、シャーシを連結して下船し、陸送する。

2. 【モーダルシフト】 P1-1

昨今の大气汚染などの環境問題、トラック輸送における道路混雑の対応として、より効率的な輸送手段へ貨物輸送を転換すること。一般的にトラックや航空などから、二酸化炭素排出量が少なく、エネルギー効率も高い海運や鉄道へ転換することを指す。

3. 【BCP】 P1-6

BCP(業務継続計画)は Business Continuity Plan の略であり、地震や風水害などの災害や事故など不測の事態によって、業務中断による経済損失を最小限に抑え、業務の継続や復旧を図るための計画のこと。

4. 【リードタイム】 P2-10

商品の発注から納品にいたるまでの生産や輸送などにかかる時間。流通段階における在庫量削減や需要に対する反応能力の向上といった意味から、リードタイムの短縮化は重要な課題である。

5. 【ロット】 P2-10

輸送および荷役、保管を行う際の貨物の処理単位のこと。

6. 【シャーシ】 P2-10

海上コンテナ等を陸上輸送するトレーラー(台車)のことをシャーシという。

7. 【リスクヘッジ】 P2-10

様々な起こりうるリスクを回避したり、その大きさを軽減するように工夫することを指す。「ヘッジ」というだけでも同じ意味を指す。

8. 【デイリー運航】 P2-11

毎日(1日1便以上)運航しているという意味。

9. 【スリングベルト】 P2-12

荷役機械等で荷役する際の荷役運搬(スリング)用ベルトのこと。

10. 【リプレース】 P3-12

交換(する)、置換(する)、元に戻す、後を継ぐ、などの意味を持つ英単語であり、船社では、古い船舶を処分して、その代わりとなる新しい船舶を建造することを指す。

11. 【手待ち時間】 P3-16

勤務時間でありながら、する仕事がなく仕事ができるのを待っている時間のことであり、荷主からは「朝一番に来てほしい」とあらゆるトラック事業者に要望するため、荷主の工場や物流センターなどでは午前中の一定の時間帯にトラックが集中し、数時間に及ぶ待機が発生しているケースが多い。

12. 【マッチング・マッチングセミナー】 P3-17

企業独自で行ってきた原材料や生産品の物流に関して効率化を図るために、品目や出発地・目的地、物量などを企業間で情報交換を行い、シャーシの共有化など通常では連携が図れない企業社間や異業種企業などが連携して、物流効率化を図ること。マッチングセミナーはそのための情報交換を行うための場を行政等が先導して開催するもの。